

# 反対意見

- 放射能災害の危険
- 事故がなくても労働者の被ばくを伴う。
- 関連施設にも大きな危険や問題がある。
- 災害が起こると、いろいろなところに長期間・広範囲に悪い影響を与える。
- 中で働く人の命の危険がある。
- 放射性廃棄物を日本で処理するところがない。
- 事故発生時に深刻な被害が生じる。
- 安全対策による発電コストが上昇している。
- 原子力の技術者が減少している。
- 再稼働しても地震で壊れてしまう。
- 施設建設に多大なコストがかかる。
- 地質学的側面から、設置場所が限定される。
- 高レベルの放射性物質が生成される。
- 高レベルの放射性廃棄物は、最終処分地が決まっていないので、長期間嚴重に管理する必要がある。
- 高レベル放射性廃棄物がたまっていく。
- 燃料になっている放射性物質は、半減期が長く、長期間にわたって影響を与える。
- チェルノブイリ原発事故や東日本大震災の原発事故、東海村の臨界事故などの過去の悲劇を繰り返してしまう。
- 『再稼働』が政治目的に使われている。
- テロの標的になる。
- 地域の人たちが不安を抱える。
- 稼働しているだけで、イメージダウンになる。
- 再生可能エネルギーの開発にお金をかけるべきであり、原子力発電所の再稼働は一時的な逃げ道でしかない。
- 稼働している原子力発電所近辺で栽培された生産物を、好んで食べる人はいないのではないか。